

# 気管支喘息で息苦しい

**Q** 70代女性。5年ほど前に気管支喘息と言われ、今日まで飲み薬と1日3回の吸入器で過ごしています。ヒューヒューと息苦しく、夜は床につくと咳も出て困っています。かかりつけ医には「薬

になる時もあるが、治療できない」と言われまして。のどのヒューヒューだけでも少なくなればと思います。

⑮

**A** 気管支喘息は気管支の炎症が慢性的に存在するために、完全には治らない疾患かもしれませんが。しかし、ヒューヒューするといった喘鳴、息苦しさは、適切な治療によってコントロールできる疾患です。

## 健康110番

国際医療福祉大学病院です



大野彰二 呼吸器内科部長

症状がない時の気管支喘息患者は日常生活の制限が全くなく、健康人と同じ生活を送れます。気管支喘息は気道の炎症性疾患であることが認識され、その炎症を抑える吸入ステロイド薬が広く使われるようになった1990年代後半からは、気管支喘息の治療は大きく変わりました。

# 症状に応じ治療ステップ

### ■気管支喘息治療薬の使い方■

	治療ステップ1	治療ステップ2	治療ステップ3	治療ステップ4
対象患者 症状の頻度	週1回未満	週1回以上	毎日	毎日+生活制限
治療薬				
吸入ステロイド薬	低用量	低-中用量	中-高用量	高用量
長時間作用性吸入β2刺激薬	不要		併用	併用
ロイコトリエン受容体拮抗薬	吸入ステロイド使用できないときに併用	いずれかひとつ併用	いずれか併用	併用
テオフィリン徐放製剤				併用
抗IgE抗体	不要	不要	不要	併用可
経口ステロイド薬	不要	不要	不要	併用可
短時間作用性吸入β2刺激薬	発作時に頓用			

喘息予防・管理ガイドライン2012より改変

アコンの冷風、冬場の冷気、ほこりっぽい環境（例えば粒子状物質「PM2.5」）などが刺激になります。それらの要因に影響されないように、症状の波を少なくすることが大切です。ですから、症状がない時も治療を継続しておいた方がいいのです。

現在、気管支喘息の治療はステップダウンしていくことが理想的ですから、必要な治療ステップから開始した方が効果的です。これらのアップダウンを繰り返していき、最終的に治療ステップ1で全く症状がない状態を2年持続できれば一時的に治療をやめることも可能となります。諦めないで、辛抱強く治療していきましょう。

それまでは気管支拡張薬を主体に治療を行ってききましたが、現在では症状がない時でも吸入ステロイド薬で気管支喘息症状の出現を予防することにより、喘息発作で救急搬送されることや死亡することが激減しました。

気管支喘息の症状と張薬を主体に治療を行ってききましたが、現在では症状がない時でも吸入ステロイド薬で気管支喘息症状の出現を予防することにより、喘息発作で救急搬送されることや死亡することが激減しました。

気管支喘息の症状となストレスも悪化の要因となります。一方で、気管支喘息には気道過敏性が高まっているので、健康人であればさほど影響されないうようなさまざまな気道の刺激で気管支が容易に反応して咳や喘鳴を発生する一面もあります。たばこの煙やエ

治療は普段の症状の頻度に応じて、治療ステップを決めています（表参照）。ご質問の方であれば毎日のように症状がありますので、治療ステップ3から開始して、全く症状がない状態が2〜3カ月持続できれば治療ステップ2にダ

（呼吸器内科部長 大野彰二）  
（第2、4、5木曜日掲載）

life

くらし

